

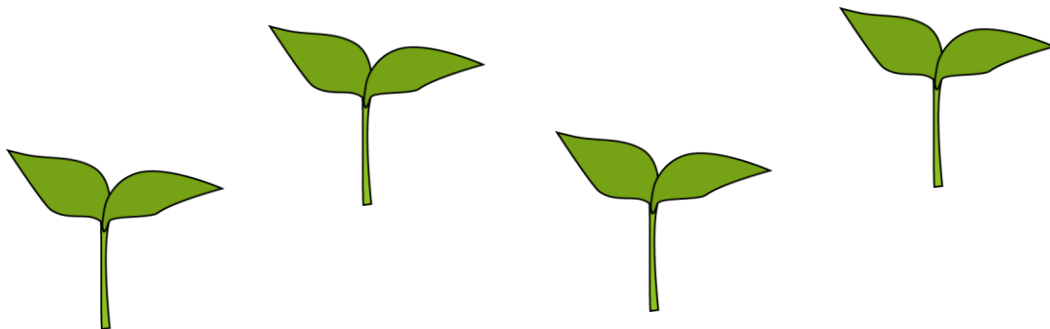
環境活動レポート

平成22年1月～12月

地球を守ろう！！

取り組んでます エコアクション21

- ・ 温暖化対策CO2削減
- ・ IT化
- ・ エコキャップ回収
- ・ グリーン購入
- ・ 清掃活動



作成 平成23年3月

岡崎医療株式会社

I 会社概要

1. 事業所名 岡崎医療株式会社
2. 代表者名 齋藤 嘉廣
3. 所在地
- 本社、山形営業所
〒990-0025 TEL 023-623-0537
山形市あこや町3丁目4-3 FAX 023-632-4880
- 鶴岡営業所・酒田営業所
〒997-0057 TEL 0235-22-0106
鶴岡市安丹字村上4-10 FAX 0235-24-5104
- 医学部前調剤薬局
〒990-2331 TEL 023-624-1123
山形市飯田西4丁目4-13 FAX 023-624-9659
- 鈴川調剤薬局
〒990-0062 TEL 023-624-6861
山形市鈴川町3丁目8-5 FAX 023-624-6862
- かごた調剤薬局
〒990-2484 TEL 023-647-8726
山形市籠田1丁目14-28 FAX 023-647-8727
- 城西調剤薬局
〒990-0832 TEL 023-646-8820
山形市城西町5丁目29-24 FAX 023-646-8824
- 七日町調剤薬局
〒990-0042 TEL 023-642-1200
山形市七日町5丁目12-13 FAX 023-642-1212
- URL <http://www.okazaki-iryo.jp>
4. 事業の規模
- 資本金 : 20, 000, 000円
- 売上高 : 43億1700万円 (平成22年度)
- 従業員数 : 79名
- 床面積 : 2, 247. 60㎡ (山形:1, 637. 74 鶴岡:609. 86)
- 事業内容 : 医療機器・医療材料全般及び介護福祉用機器・用品の販売修理
を行う総合商社であり、調剤薬局の経営も行っている。

II 対象範囲

岡崎医療株式会社 本社
〃 山形営業所
〃 鶴岡営業所
〃 医学部前調剤薬局
〃 鈴川調剤薬局
〃 かごた調剤薬局
〃 城西調剤薬局
〃 七日町調剤薬局

対象期間 平成22年1月～12月

発行日 平成23年3月31日 作成

エコアクション21

認証・登録番号 0003346

山形エコアクション21

認証・登録番号 YEA21-000024

岡崎医療株式会社

代表者 齋藤 嘉廣

環境管理責任者 大場 一彦

事務局 総務部 佐藤 松博

III 環境方針

《基本理念》

岡崎医療株式会社は、医療・福祉・健康分野での事業活動を通して、環境問題に正面から積極的に取り組んでいきます。

全社を挙げてその取組みを継続して実行することで、地域社会に貢献する企業を目指します。

《基本方針》

1. 環境経営システムの運用

環境活動を通し、地域社会への貢献と地球環境の保護に取り組むために、環境目標を定め、環境経営システムを効果的に運用し継続的な改善を図っていきます。

2. 資源、エネルギーの効率的な使用と二酸化炭素排出量の低減

事業活動を通して発生する環境負荷を低減するよう各種取組みを実施します。

- ・電気使用量、化石燃料使用量、水使用量の把握と低減
- ・廃棄物の排出抑制とリサイクル処理
- ・エコドライブ、ノーカーデー、グリーン購入等の活動推進

3. 環境関連法規等の遵守

環境に関する法令・規則の内容を正しく理解し、その遵守に努めます。

4. 環境方針及び環境経営システムの周知と公開

環境方針及び環境経営システムを全社員が理解し、環境への意識向上が図れるように教育・啓発活動を行うとともに、広く社外にも公開し地域社会に貢献します。

平成23年1月1日

IV 環境目標

手さぐりで始めたエコアクション21の取組みであったが、日・月を追うごとにやるべきことが見え始める。削減活動の達成感もあり、思い切って本年度の削減目標は前年実績に対しチームー5%とする。

V 環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1)電気使用量、灯油使用量の削減

- ①冷房・暖房時の部屋の温度管理の徹底
- ②クールビズ、ウォームビズの実行
- ③時間管理の徹底
- ④ノー残業デーの実施、最終退社時刻の徹底

(2)ガソリン使用量の削減

- ①営業車の燃費管理
- ②エコドライブ研修と実践(アイドリングストップ)

(3)廃棄物の削減とリサイクル処理

- ①分別廃棄の徹底及び減量化
 - a.保管場所の管理
 - b.産業廃棄物のマニフェストの管理
- ②コピー使用の削減
 - a.カウンター管理
 - b.両面コピーの推進、裏紙使用の管理徹底

(4)水の節水

2. 環境保全への取組み

(1)清掃等のボランティア活動の実行

- ①近隣地域のごみ拾い、公園清掃
- ②環境活動への参加(対外的ボランティア活動)

(2)環境法令等の知識吸収

- ①エコアクション21環境経営システムの勉強会(教育訓練計画)

3. 山形エコアクション21の取組み事項

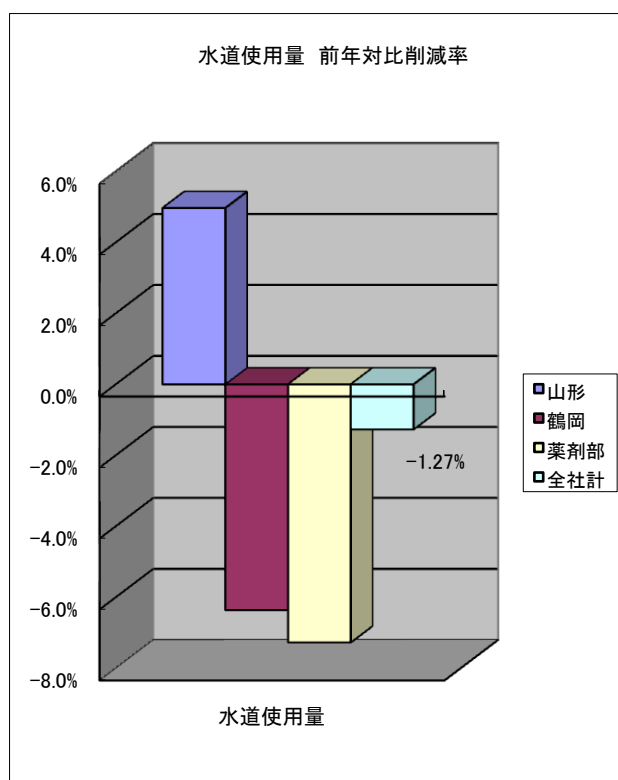
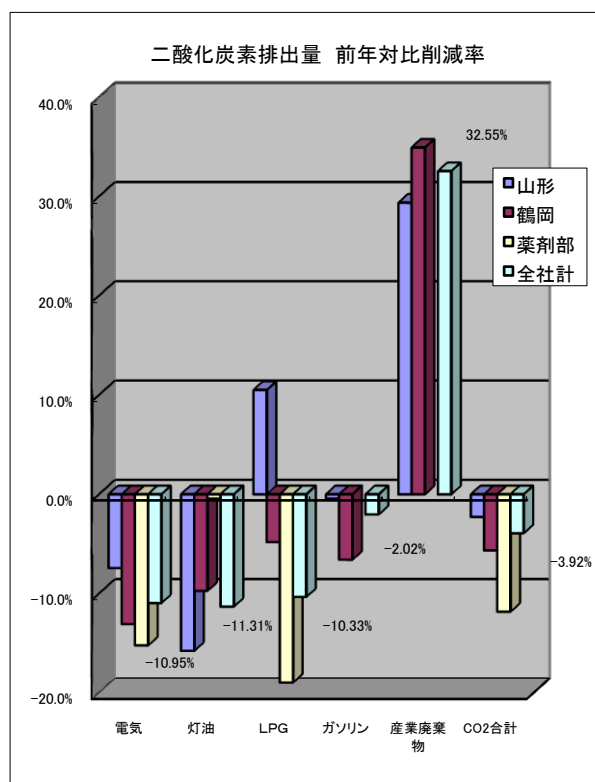
- (1)ノーカーデーの推進
- (2)マイバック使用の定着
- (3)地産地消の推進
- (4)グリーン購入の推進

VI 環境目標の実績

<資料1> 環境目標とその達成状況(2010.1~2010.12)

項目	2009年実績値	2010年目標値	2010年実績値	目標達成率
■二酸化炭素排出量	302,594.39 kg-CO2	287,464.67 kg-CO2	314,464.70 kg-CO2	91.41%
1)電気	57,707.64 kg-CO2	54,822.26 kg-CO2	64,025.07 kg-CO2	85.63%
2)灯油	33,291.69 kg-CO2	31,627.11 kg-CO2	37,055.50 kg-CO2	85.35%
3)LPG	2,053.12 kg-CO2	1,950.46 kg-CO2	2,265.11 kg-CO2	86.11%
4)ガソリン	197,888.55 kg-CO2	187,994.12 kg-CO2	196,153.39 kg-CO2	93.12%
5)軽油	3,970.39 kg-CO2	3,771.87 kg-CO2	9,783.83 kg-CO2	
6)廃プラスチック	7,683.00 kg-CO2	7,298.85 kg-CO2	5,181.80 kg-CO2	140.86%
■廃棄物排出量				
1)廃プラスチック	2,955 t	2.81 t	1,993 t	140.86%
■総排水量 (水使用量)				
1)上水	632.00 m ³	600.40 m ³	640.00 m ³	93.81%
■地域環境保全活動	5件	6件以上	3件	50%

<資料2> 二酸化炭素排出量及び水道使用量前年対比削減率(2010.1~2010.12)



VII 環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

1. 取組み結果

- (1)今年度より薬剤部(薬局5店舗)が活動に参加し、全社での取組みが実現した。
- (2)エコアクション21推進担当者の活動計画に基づいて活動した。
- (3)推進担当者の具体的な施策実行により、全社員が環境への取組みを継続出来た。
- (4)新たな取組みとして、エコキャップ回収(ワクチンにつながる)活動を展開。

2. 評価

時間管理の徹底により、電気使用時間の短縮の継続は出来たが、夏の猛暑で冷房の使用頻度が増加し、二酸化炭素排出量が増加することになった。

ガソリンは、ハイブリッド車の導入により増加に歯止めがかかりつつある。エコドライブの実践も引き続き継続している。

産業廃棄物は、分別廃棄が徹底されてきた効果により会社全体で32%削減となった。

環境保全活動についても、天候に左右され年度末多忙時期とも重なり2回計画のうち1回の実施に終わった。



<エコキャップ回収>



<節水のための水道蛇口カバー>



<産業廃棄物分別>



<グリーン購入>

3. 次年度(平成23年度)の取組み内容)

(1)二酸化炭素排出量の削減・・・排出量の絶対数から原単位換算法の導入

- ・電気使用量、灯油使用量の削減
- ・冷房・暖房時の部屋の温度管理の徹底
- ・クールビズ、ウォームビズの実行
- ・時間管理の徹底
- ・ノー残業デーの実施
- ・最終退社時刻の徹底
- ・営業車の燃費管理
- ・エコドライブ研修と実践
- ・廃棄物の分別と減量化
- ・産業廃棄物の管理
- ・一般廃棄物の削減
- ・コピー使用の削減
- ・水の節水

(2)環境保全への取組み

- ・清掃等のボランティア活動の実行
- ・環境活動への参加
- ・環境法令等の知識吸収

(3)山形エコアクション21への取組み

- ・ノーカーデーの推進
- ・マイバック使用の定着
- ・地産地消の推進
- ・グリーン購入の推進

※原単位を用いた中期目標 例

①電気使用量 (原単位:売上100万円に対する電気使用量<Kwh>)

電気使用量 (原単位)	平成22年度 実績基準値	目標値		
		平成23年度	平成24年度	平成25年度
山形	24.16	23.92	23.67	23.43
鶴岡	27.72	27.45	27.17	26.89
薬剤部	72.96	72.23	71.50	70.77
計	31.58	31.26	30.95	30.63
削減率		1%	2%	3%

(平成22年基準値からの削減率)

②ガソリン使用量 (原単位:車両台数10台に対するガソリン使用量<L>)

ガソリン使用量 (原単位)	平成22年度 実績基準値	目標値		
		平成23年度	平成24年度	平成25年度
山形	1,710	1,693	1,676	1,659
鶴岡	1,708	1,691	1,674	1,657
計	1,710	1,693	1,675	1,658
削減率		1%	2%	3%

(平成22年基準値からの削減率)

VIII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の確認並びに違反、訴訟等の有無

- ・産業廃棄物はマニフェストを遵守し、業務遂行している。
- ・年1回の県知事への報告義務も確認している。
- ・毒劇物取扱法に沿って、業務遂行している。
- ・他、違反、訴訟等も無し。

IX 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境経営システムが有効に機能しているか

環境経営システムについてはだいぶ理解されてきたものの、まだ有効に機能しているとは言えない。

日々の業務に追われ、きめ細かく取組めないものも見られる。次年度以降も、推進担当者の教育も含め環境経営システムの理解を再度進めていく必要がある。

2. 環境への取組は適切に実施されているか

環境への取組み意識は上がってきており、いろいろな工夫も出てきている。

全社員の意識をさらに高めていくために、推進担当者を中心にして環境経営システムの内容を全社員が深く理解出来るように教育・啓発の充実を図っていく。

3. 変更の必要性

<変更の要旨>

- | | | |
|------------|--------------------|------------------------|
| 1)環境方針 | (継続 ・ 変更) | より具体的な方針の作成 |
| 2)環境目標 | (継続 ・ 変更) | 原単位での目標設定を行う。 |
| 3)環境活動計画 | (継続 ・ 変更) | 本業に関する活動計画を盛り込む。 |
| 4)環境経営システム | (継続 ・ 変更) | 役割分担の明確化(推進担当者の変更・見直し) |

4. 環境管理責任者への指示

環境への取組みは企業の社会的責任として継続していくものであり、今後とも地域社会貢献のために全社員で行っていく必要がある。2010年は薬剤部も活動に参加し全社での取り組みとなったので、2011年は尚一層環境管理責任者としての職務を認識し、全社をあげて有意義な活動となるようその取組みを積極的に実行してほしい。